



大事な時間を大事にしていく

校長 藤森克彦

ようやく今週から全員そろっての教育活動が始まりました。長期に渡る臨時休業、そして約1か月間の分散登校でしたが、保護者の皆様の様々なご対応と地域の皆様の温かい見守りに謹んで感謝申し上げます。子どもたちもよくがんばりました。特に1年生は初めての学校生活で大変だったと思います。保護者の皆様の本校へのご支援を実感した3カ月でした。本当にありがとうございました。

さて話は変わりますが、私が担任をしていたとき一番好きだった時間は、一日の授業が終わった放課後でした。それは、自分も子どもたちも一定の開放感の中で、こんなにのんびりと子どもたちとしゃべっていられて幸せだなと実感できたひと時でした。昔の学園ドラマに出てくるように、校庭の隅のベンチで目的があるわけでもない会話を子どもたちとしている。そこにサッカーボールが転がってきて「よし」とか言って蹴り返すみたいな、そんな光景です。それがいつしかずっと先になって、とても大事な時間だったことに気付く、教師と子どもの心と心が触れ合う大切にしたい瞬間です。ゆったりとした気持ちで教師が子どもとかかわることの大切さを学術的に講義しているものは見つけられませんでした。親と子のかかわり方として、心理学者で東京女子大学名誉教授の柏木恵子さんは、「子どもの育つ条件」(岩波新書)の中で次のようにおっしゃっています。

子どもをしっかりと見て応答的な態度で接するには、親自身が不安を抱え込まず心理的に安定していることが前提となります。すなわち、親自身が生きているという実感や、自分の将来に対して希望をもてなければ、子どもにゆったりとした気持ちで向き合い、子どもをありのまま受け入れることは困難です。親自身に心理的な安定がないと、子どもの言い分に傾ける余裕がなくなって、頭ごなしに自分の考えを押し付けたり、不満のはけ口のように子どもの教育にのめりこんだりすることになってしまいます。

ここで「親」という言葉を「教師」に置き換えて読んでみると、我々は子どもたちをしっかりと見てどれだけ応答的なかわりをしてきてだろうか、様々な場面を振り返ってしまいます。中には、担任も替わったりクラス替えもあったりして、子どもたちの中には友達関係などで不安に思うこともあるのではと心配もしています。新型コロナウイルスや授業の進行などもあります。何よりも子どもたちの心のケアをしていきたいと思っています。ご家庭でもお気づきの点がありましたら担任までお知らせください。

◆1学期の「あゆみ」について◆ 4月からの臨時休業や分散登校で、7月末まで通常登校としても例年に比べ授業時間が少なくなっていますが、家庭学習を通じた「学びに向かう姿勢や態度面」での努力を加味しつつ、授業での知識や技能等の客観的な評価を基に、7月31日終業式の日「あゆみ」をお渡しいたします。学年によっては一部の教科で十分な学習活動ができなかったため、評価の項目によってはつけられないところもありますがご了承ください。また、評価の項目そのものの数が例年に比べ少なくなっています。これは国の学習指導要領が改訂されたことによるもので、新型コロナウイルスの影響ではありません。「あゆみ」の見方等につきましては併せて配布します説明文書にてご確認ください。

◆開校145周年記念絵はがき◆ 最後に一点ご紹介いたします。この度開校145周年にあたりコミュニティ・スクールの活動の一環として、イラストで本校の特長を紹介するオリジナルの絵はがき(3枚1セット)を制作しました。7月中旬に子どもたち全員に配布する予定です。コミュニティ・スクールの目的は、年代を超えて様々な方と学びを通してふれあうことで、豊かな人間性や社会性を育てていこうとするものであり、手紙やはがきの習慣は時代が変わっても大切にしていきたいものです。いつもは田舎に行っていたけれど今年は見合わせるなど夏休みの在り方も変わってくるかもしれません。そんなときは、この絵はがきを送ってみてはいかがでしょうか。

6年 1年生のお世話

6年担任 清水 沙織

休校が明け、かわいい1年生が大きなランドセルを背に元気に登校してきます。いよいよ6年生が「1年生のお世話当番」をスタートさせました。初めは遠慮や戸惑いを感じられましたが、回を重ねることに慣れ、頼れるお兄さんお姉さんに成長しました。昇降口で「おはようございます！」と優しく声をかけ、教室ではランドセルをフックにかけたり名札を付けたりする手伝いをします。「自分で上手にできる1年生がたくさんいました」「マスクをしているのでお互いに顔を覚えにくいです」「ありがとうって言うてくれてうれしかった」など、1年生一人一人に丁寧に声をかけ、関わろうとする意欲にあふれる6年生です。最高学年として、これからも大井第一小学校を盛り上げてくれることを期待しています。

5年 5年生になって

5年担任 中村 香織

分散登校が始まり、5年生も前向きに頑張ろうとする姿が見られ、新しいクラスや友達にも少しずつ慣れ、笑顔が見られています。

生活面では、登下校や遊びの後、上ばきを揃えて置こう、というめあてをもち、学年で意識して取り組んでいます。

学習面では、メダカの誕生について学習するため、一人一人にメダカの卵を渡し、家で観察しながら育てています。小さな生命を大切にしようと、飼い方を調べたり、孵化する場面に興味をもったりしていました。顕微鏡の使い方も学び、新しいことを学ぼうとする子どもたちはいきいきと楽しそうでした。

これから学校生活で、6年生を支え、自らも下学年の手本となって成長してほしいと願います。

4年 よいスタートが切れています

4年担任 森本 睦美

学校が再開して、子どもたちは久しぶりの再会をととても喜んでいきます。休み時間には、クラスや学年の垣根を越えて楽しく外遊びをする様子がほほえましいです。感染予防の約束もきちんと守り落ち着いて生活する姿には、高学年らしさも少しずつ感じられるようになりました。挨拶や返事は、休み明けは少し元気がなかったのですが、少し声をかけただけでみちがえるように素晴らしくなりました。また、下駄箱の上履きもきちんとそろえていて、今、4年生の下駄箱はピカピカです。

打てば響く素直で明るい4年生。個性がより際立ち、自分なりの考えをもって行動できるようになるこれからの成長が今からとても楽しみです。

3年 図工「ねんどランドへようこそ」 3年担任 岩本 未央

3年生になって初めての図工の学習をしました。一人一人が考えた世界を、粘土を使って作りました。かわいい海の生物を作って水族館にしたり、粘土をつなげてタワーを完成させたり、制作に熱中していました。作業中には、「先生！高さを出すために段を作ってみたよ」と試行錯誤して想像をふくらませていました。作った後は、みんなで作品を鑑賞し合いました。「〇〇さんの作品は、細かく作られていてすごい」「〇〇さんの看板の作り方を真似してみたい」など、友達の作品から、さらに素敵なアイデアを生み出していました。とても楽しい時間を過ごすことができました。

2年 白い帽子がまぶしいね 2年担任 笹本 聡子

黄色い帽子から白い帽子に変わり、やる気満々な2年生。休み時間には、久しぶりに会えた友達と校庭に出て元気いっぱい外遊びを楽しんでいます。また、廊下の歩き方や話の聞き方など1年生のお手本になるような態度や行動を心がけようと張り切っています。去年の2年生にしてもらったことを聞いてみると「あさがおの種をもらった」「おもちゃ作りをしてもらった」「一緒に遊んだ」などどんどん出てきて、とても印象に残っていることが分かりました。また、「一緒に遊びたい」と1年生と交流できる日を楽しみにしている姿を見ると、お兄さん、お姉さんとしての自覚が芽生えてきていることを感じます。意欲にあふれ、何事にも一生懸命取り組む2年生。これからの成長が楽しみです。

1年 1年生の給食 1年担任 岸田 淳生

1年生が楽しみにしていたことの一つに給食があります。6月から分散登校とともに、給食も始まりました。“給食当番”を楽しみにしていた児童もいたのですが、残念ながら当番なしの給食です。

一方通行のきまりを守って、一つずつ自分の机まで運びます。みんなそろって「いただきます」をすると、とても集中して食べ始めます。まだまだ始まって間もないので食べきれないこともあります。時間いっぱい一生懸命に食べています。

これから給食当番が始まると、白衣を着たり、同じ量ずつ分けたりと、新しく覚えることも増えますが、食べることの大切さ、楽しさを感じながら、健康な体を作っていってほしいと思います。



年間重点生活目標「大-ABCを身に付けよう」

今月の生活目標

- 生活のめあて 最後まで話を聞く ~人の話は最後まで黙って聞きましょう~
- 保健のめあて ハンカチとちりがみを身に付けよう
- 給食のめあて 楽しく食事をしよう



7月の行事予定

日付	曜	主な行事	日付	曜	主な行事
1日	水		17日	金	委員会
2日	木	品川区学力定着度調査(2~6年)	18日	土	
3日	金	品川区学力定着度調査予備日(欠席児童)	19日	日	
4日	土		20日	月	
5日	日		21日	火	
6日	月		22日	水	
7日	火		23日	木	海の日
8日	水		24日	金	スポーツの日
9日	木		25日	土	
10日	金	避難訓練 安全指導 クラブ	26日	日	
11日	土		27日	月	補習教室①
12日	日		28日	火	補習教室②
13日	月		29日	水	
14日	火		30日	木	補習教室③
15日	水		31日	金	終業式(放送)
16日	木				

今月は、資源回収・校庭開放は実施いたしません。

引き取り訓練について

日時：9月5日(土)

引き取り時間 11:05~11:40

ご多用とは思いますが、より多くの保護者の方に参加していただきたいと考えております。保護者証と上履きを持参し、教室までお越しください。

保護者会について

日時：9月7日(月) 5・6年

9月8日(火) 3・4年

9月10日(木) 1・2年

14:30~

場所や内容につきましては後日、ご案内いたします。

生活指導部より

生活指導部 山本 健

7月の生活目標は「最後まで聞く」です。先月までは、新型コロナウイルス感染防止のためにクラスを半分に分けての分散登校でした。人数が少ないこともあって、どの教室でも静かに学習する姿が見られました。今月は、いよいよ一斉登校が始まり全員そろっての学校生活になります。人数が多くなっても、友達や先生の話最後まで静かに聞き、落ち着いて学校生活を送れるようにしたいと思います。感染防止のための手洗いも引き続きしっかりと行っていきます。ハンカチとティッシュをきちんと身に付けて清潔な生活できるようにしましょう。

リレーコラム「かかわる・創る」

4年担任 小池 絢子

4年梅組では、子どもたちに「4年生は上の学年にも下の学年にも影響を与える学年である」ということを伝えました。下級生の手本となるような存在に、また、取り組む姿勢や態度で上級生を鼓舞するような存在になってほしいと思っています。

4年生は、今までより他人を意識することが増え、他人と比べて落ち込んでしまうことがある時期です。そんな発達段階だからこそ、物事のいい所に目を向けられるように育てていきたいと考えています。そこで私は「言葉」を意識して子どもたちに話をしています。人は言葉によって傷ついたり元気づけられたりします。だからこそ身近にいる教師が発する言葉は常に前向きでポジティブでありたいと考えています。どんなことがあっても前向きに頑張れるように、4年梅組に温かい言葉があふれるようにこれからも見守っていきます。